

2017年9月4日第2回公開研究会

「米国1920年代の戦争違法化 (Outlawry of war)

運動の思想と運動に学ぶ」

報告者 河上暁弘さん

(本会世話人 広島市立大学 広島平和研究所)

テーマ 米国1920年代の戦争違法化 (Outlawry of war) 運動の思想と運動に学ぶ

著書『日本国憲法第9条成立の思想的淵源の研究～「戦争非合法化」論と日本国憲法の平和主義』(専修大学出版局)

「戦争非合法化」の思想とは、侵略・自衛・制裁のいずれを問わず、あらゆる戦争の非合法化をし、戦争の廃絶を実現しようとしたものであった。侵略戦争だけを禁止しても「自衛の名による」戦争が行われてしまう。また、制裁と言っても「正義の名による」戦争にすぎない。自衛戦争・制裁戦争を非合法化・禁止の例外としたのでは決して戦争はなくならないのである。レビソン・モリソン・デューイなどの思想と行動を丁寧に解説されました。

今回の報告に近い かつての報告(参考) ↓

<http://www.gensuikin.org/data/kawakami.html>

参考資料 ↓

<http://www.gensuikin.org/siryoku.html>

今回の報告は現在テープ起こしを行っています。少々おまちください。

「日本国憲法第9条成立の思想的淵源の研究—『戦争非合法化』論と日本国憲法の平和主義」(専修大学出版局) 2006/2/1

日本国憲法第9条成立の 思想的淵源の研究

「戦争非合法化」論と日本国憲法の平和主義

河上 暁弘 *Akihiro Kawahara*

*A Study of Ideological Origin in the Formation of the Constitution of Japan,
Article 9 — "Outlawry of War" Theory and the Pacifist Provision of the Constitution of Japan*



専修大学出版局